

いま10代にある真の才能の手応え

私はたぶん疑り深い性格なのだろう。若いアーティストに付けられた美辞麗句を信じない。自分の耳でそのアーティストの演奏を聴くまで、何も期待しない。神童、天才、10年にひとりの逸材、とか、そういう言葉の類いだ。しかし、実際に聴いて、その才能を信じた時には、喧伝することになっている。久々にその才能の手応えを感じさせてくれるヴァイオリニストに出会った。それが服部百音だ。

昨年、東京・紀尾井ホールで行われた彼女のヴァイオリン・リサイタルに出かけた。和声の陰翳によって描かれた透明なイザイの無伴奏、そしてエルンストやヴィエニャフスキといった、名うてのヴィルトゥオーゾたちも尻込みする難曲に立ち向かう姿が清々しかった。いまだ十代。1999年生まれなので、「20世紀最後の明星」と私は勝手に呼ぶことにした。名伯楽ブロンのもとで研鑽を積みながら、日々成長して行く彼女の姿を、同時代の私たちはしっかりと目に焼き付けなければならないと思う。期待のリサイタルの幕が開く。

片桐卓也 (音楽ジャーナリスト)

服部百音 (ヴァイオリン) Mone Hattori, violin
1999年生まれ。5歳よりヴァイオリンを始め8歳よりザハール・ブロン氏に師事。2009年リビンスキ・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクールのジュニア部門で史上最年少第1位及び特別賞を受賞。2013年にはノヴォシビルスク国際ヴァイオリン・コンクールで最年少グランプリ、2015年ボリス・ゴールドシュタイン国際ヴァイオリン・コンクールでグランプリ受賞。国内外でリサイタルやオーケストラとの共演などを行っている。2015年4月にはウラディーミル・アシュケナージ指揮、EUユース管弦楽団とスイス及びイタリアで共演した。第27回新日鐵住金音楽賞《フレッシュアーティスト賞》を受賞。使用楽器は上野製菓株式会社より貸与されているピエトロ・ガッルネリ。現在ザハール・ブロン・アカデミー(スイス)に在籍。東京音楽大学附属高等学校特別特待奨学生。

三又瑛子 (ピアノ) Akiko Mimata, piano
仙台市出身。4歳よりピアノを始める。桐朋学園大学ピアノ科を首席で卒業。同大学卒業演奏会、室内楽演奏会に出演。第16回ABC新人コンサート、第78回読売新人演奏会に出演。2005~2007年、田崎悦子氏主催ピアノワークショップ「Joy of Music in 八ヶ岳」受講。2012年および2013年、日本音楽コンクールにおいてコンクール委員会特別賞(ヴァイオリン部門ピアノ伴奏)受賞。これまでに、ピアノを庄司美知子、加藤伸佳、田崎悦子、室内楽を加藤知子、加藤洋之の各氏に師事。桐朋学園大学弦楽部嘱託演奏員。石川ミュージックアカデミー、ミュージックアカデミー inみやざき、笠間国際音楽アカデミーなどで公式伴奏者を務める。NPO法人「ハマのJACK」メンバー。

PHOTO: YUJI HORI

服部百音

世界を驚嘆させる
スーパー・ヴァイオリニスト服部百音!
ドイツの名門オケとの共演による
衝撃のデビュー・アルバム!



ワックスマン: カルメン・ファンタジー ショスタコーヴィチ: ヴァイオリン協奏曲第1番

服部百音(ヴァイオリン) アラン・プリバエフ指揮、ベルリン・ドイツ交響楽団
[録音]2016年5月31日~6月2日 ベルリン、テルデクス・スタジオ

CD AVCL-25904 定価¥3,000 (本体価格)+税

NOW ON SALE

avex-CLASSICS